

老人クラブ会員の方へ



平成26年9月

発行 広島県警察本部
交通部企画課

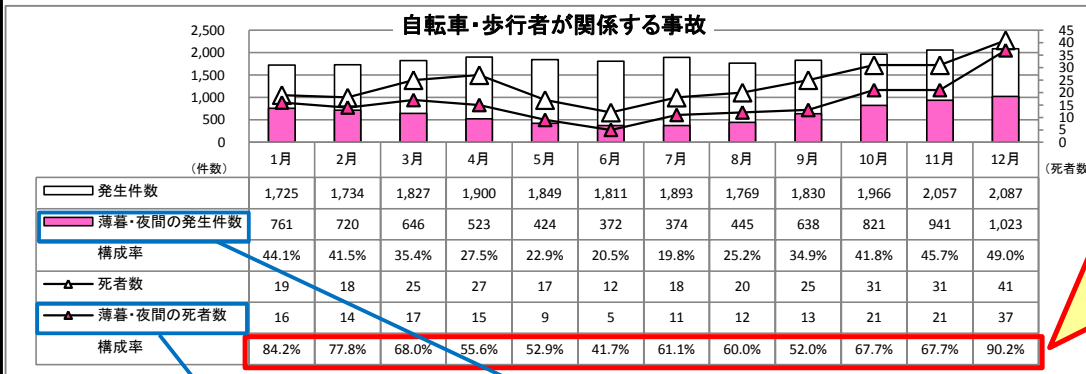
薄暮時・夜間帯の交通事故が急増！



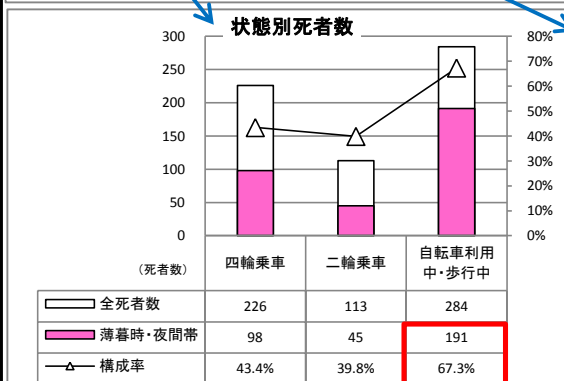
歩行中・自転車利用中の交通事故をみると、日没時間が急激に早まる9月から発生件数、死者数ともに増加する傾向にあります。

これは、暗くなる時間帯と交通量が多くなる帰宅時間が重なるためと考えられます。

また、同時帯の死者の状態別では、自転車利用中・歩行中が最も多くなっています。



薄暮時・夜間帯の死者数の構成率は、いずれの月も発生件数の構成率に比べ高く、同時帯は重大事故に繋がる危険性が高い！



薄暮時・夜間帯のライト点灯状況等

【歩行者・自転車】

- 歩行者の殆どが反射材未活用(活用品 1.5%)
- 自転車の半数が無灯火(ライト点灯 52.5%)

【加害者となった四輪】

- 日没前の薄暮時にライトを点灯していた車両は少ない(ライト点灯 22.4%)
- 夜間帯は殆どが下向きライト(上向きは1.0%)

発見の遅れが交通事故に繋がっている

ライトを上向きにすると、下向きでは見えない危険を早期に発見できます。

下向きでは約40mのところ、上向きでは約100m先まで確認できます。

【下向きライト】



約40m

【上向きライト】



約100m

【車・バイクを運転される方へ】

★ 薄暮時は、ライトを早めに点灯しましょう。

★ 夜間走行中は、ライトを原則上向きに点灯し、対向車や前に車がある時は、下向きライトに切り替えましょう。

【自転車利用者・歩行者の方へ】

★ 自転車は車両です。夜間は必ずライトを点灯するとともに、暗くなる前に、早めのライト点灯を心掛けましょう。

★ 反射材やLEDライトを活用すると、車や自転車に自分の存在を早く知らせることができます。

薄暮時・夜間帯に外出する際は、反射材の活用を習慣づけましょう。